

# モンゴル・エルデネ村4泊5日の旅

①

## 弥彦村小林村長と中学生6人

### 日馬富士関の土俵入りから

### 弥彦モンゴル友好協会設立

弥彦村は友好都市のモンゴル・エルデネ村への二回目の中学生派遣事業として、八月六日から十日までの四泊五日で、小林豊彦村長と中学生六人などの交流派遣団がエルデネ村を訪問。現地ではムンフサイハン・エルデネ村長が出迎えから見送りまでほぼ全日程に同行する歓迎ぶり、中学生はホームステイをしながら現地の生活を体験し、子どもたちと交流した。

昨年、エルデネ村の子どもたちが弥彦村を訪問したことでエルデネ村では弥彦村との交流が盛り上がり、ムンフサイハン村

長からは弥彦村を訪問する子どもの数を増やしてほしいという具体的な要請も行われ、小林村長は歓迎する意向を示し、来年の弥彦村での再会を約束した。弥彦村とモンゴルとの交流のきっかけは平成二十七年八月、弥彦神社相撲場開きとして行われた元横綱日馬富士関の横綱土俵入り。伊勢ヶ濱部屋には元日馬富士関、照ノ富士関とモンゴル出身力士二人がいることから、弥彦村ではモンゴルとの交流を進めている。二十八日四月に弥彦モンゴル友好協会(会長・小林村長)を設立。防災機能付き多目的施設やホールでの「弥彦モンゴルフェア」などを行っているほか、東京オリンピック・パラリンピックのホストタウン構想にも、「モンゴル・新潟交流プロジェクト」として新潟県、新潟市、長岡市、燕市、五泉市とのグループで登録している。

友好都市のエルデネ村はモンゴル北東部、首都ウランバートルから約六十キロ東に位置し、人口約三千七百人、面積約八千四百平方メートル。歴史ある自然公園が数多く、高さ約四十メートルのチンギスハンの像、十三世紀村などの観光スポットがある。



広い敷地に建てられたエルデネ村役場



役場駐車場に置かれた、弥彦村から贈った小型動力ポンプ積載車

### 1年おきに子どもたち派遣

### ことしは弥彦村が訪問

友好都市のエルデネ村は、二十七年十一月、弥彦モンゴルフェアで来村した駐日モンゴル大使館のフレルバートル前特命全権大使に相談。フレルバートル大使は外務大臣経験のあるエンフボルト防衛大臣(当時は国会議長)に相談し、十二月に大

使館からエンフボルト大臣の出身地のエルデネ村を紹介された。弥彦村は大使館の紹介に加えて、首都から移動時間が比較的短く、同じ観光地でもあるエルデネ村を選定。二十八日八月には小林村長と中学生六人がエルデネ村を訪問し、友

好都市協定(友好交流に関する覚書)の調印を行い、弥彦村とエルデネ村との交流をスタートした。昨年七月には、弥彦村消防団で使っていた小型動力ポンプ積載車をエルデネ村に贈呈。十月にはエルデネ村が村長と中学生六人がエルデネ村を訪問し、友

長と小、中、高校生六人など総勢十人が弥彦村を初めて訪問し、弥彦中学校の生徒の家にホームステイをしながら交流した。弥彦村とエルデネ村は一年おきに子どもたちを派遣することにしており、ことしは弥彦村がエルデネ村を訪問する番。弥彦村からの訪問は二年ぶり、二回目となる。

チンギスハン騎馬像の展望台から見た雄大な風景

高層ビルが建つウランバートル市街



(山崎洋次郎記者)